

カワモズク科

ツماغロカワモズク

Batrachospermum skujae Geitler emend. Vis et al.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… CR

■ 県内分布

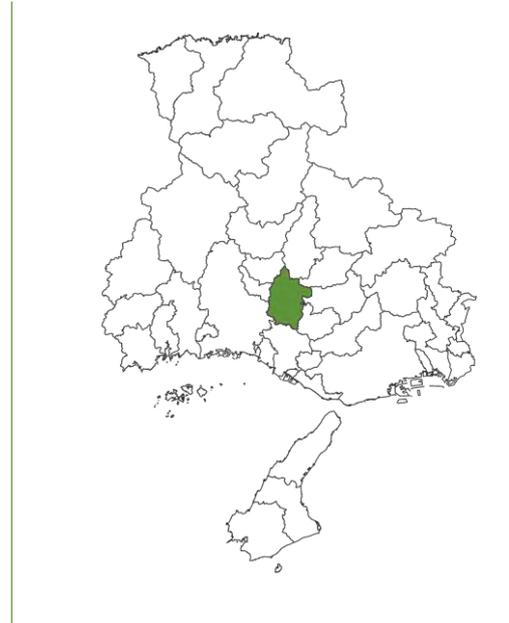
加西市

■ 国内分布

愛知県、広島県等

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

生育地には湧水が見られる。2020年版で要調査種からAランクに変更した。



写真提供: 佐藤裕司

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

藻体(配偶体)は茶褐色または緑褐色で、粘質。長さ 3-12cm。雌雄同株。顕微鏡で見ると、輪生枝叢内に1-6個の果孢子体や、披針形または杓子形の受精毛が観察される。カワモズクによく似るが、生育環境が異なる。湧水のある小河川中の石等に着生。晩秋から早春の時期にみられる。